

- 5月29日9時59分、新岳において爆発的な噴火が発生し、噴煙が火口上9,000m以上まで上がった。また、火砕流が発生し、新岳火口の南西側から北西側（向江浜地区）方向の海岸まで達した。
- 噴火発生直後から、鹿児島県及び屋久島町にリエゾンを派遣し連絡調整を実施。
- また、災害対策用ヘリコプターによる、降灰状況及び土石流発生状況の調査のほか、火口周辺の監視を噴火当日から実施。
- 九州地方整備局からTEC-FORCEと災害対策用機械等を派遣し、小型画像伝送装置により屋久島町役場にリアルタイム映像配信するとともに、録画映像や写真を屋久島町を通じて避難者の方々に提供。
 - TEC-FORCE：のべ370人・日派遣（5月29日～7月24日）



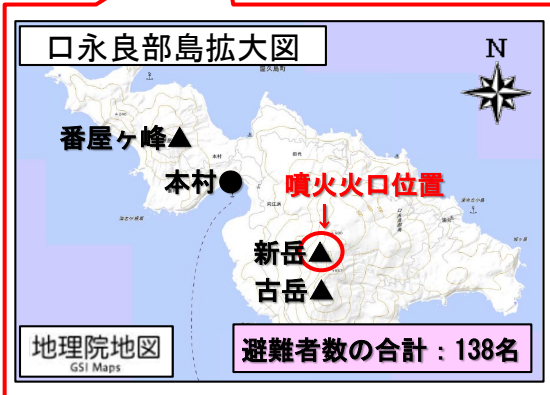
災対ヘリによる降灰等の状況調査
5月29日 16時頃撮影



一時入島に向けた
自衛隊との事前調整



一時入島の状況を
関係機関で監視



小型画像伝送装置 (Ku-sat)
の設置



屋久島中継所に
監視カメラを設置



住民の方々に
これまでの調査結果を説明